

各 位

会 社 名 ミ ラ イ ア ル 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 兵 部 行 遠
(J A S D A Q ・ コ ー ド 4 2 3 8)

問 い 合 せ 先

役 職 ・ 氏 名 常 務 取 締 役 経 理 部 長 脇 新 市
電 話 番 号 0 3 (3 9 8 6) 3 7 8 2

平成21年 1 月期通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

平成 20 年 9 月 11 日付当社「平成 21 年 1 月期通期(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ」において発表いたしました平成 21 年 1 月期(平成 20 年 2 月 1 日 ~ 平成 21 年 1 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成21年 1 月期 連結業績予想の修正(平成20年 2 月 1 日 ~ 平成21年 1 月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	16,243	3,207	3,395	2,101
今回修正(B)	14,500	2,400	2,600	1,600
増減額(B - A)	1,743	807	795	501
増減率	10.7%	25.2%	23.4%	23.8%

2. 修正理由

当連結会計年度における連結業績予想の修正理由は以下のとおりであります。

世界経済は、米国サブプライムローン問題に起因し、世界的な金融不安による景気後退の影響を受け、個人消費と企業の設備投資の減少による受注の激減が予想され、引き続き厳しい状況が見込まれます。

【プラスチック成形事業】

世界的な景気後退の影響を受け、個人消費の後退局面において、需要が大幅に落ち込むことが見込まれております。主力の半導体関連製品の世界的需要低迷から、シリコンウエハメーカーの設備投資の下方修正、操業度の悪化により、当プラスチック成形事業の販売は、前回業績予想を下回る見込みです。

【成形機事業】

企業の設備投資の意欲の減退を受け、主力の射出成型機の受注が減少しております。その結果、成形機事業の販売、出荷は、前回業績予想と比べ、大きく影響を受けており、現状の受注状況を鑑み、厳しい環境が続くものと予想されます。

以上の結果、売上高は前回予想比較におきましては、17億43百万円下回り145億円となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高の減少に伴い設備投資の縮少、経費削減の強化を実施し、収益向上に努力してまいりますが、売上高の減少を吸収できず、営業利益は前回予想を8億7百万円下回る24億円となる見込みであり、経常利益は前回予想を7億95百万円下回る26億円となる見込みであります。

当期純利益については、経常利益の減少に加え、還付法人税等があったこと等による税金費用の減少により、前回予想を5億1百万円下回る16億円となる見込みであります。

3. 平成21年1月期 個別業績予想の修正（平成20年2月1日～平成21年1月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想（A）	12,897	3,137	3,205	2,002
今回修正（B）	11,600	2,500	2,500	1,600
増減額（B - A）	1,297	637	705	402
増減率	10.1%	20.3%	22.0%	20.1%

4. 修正理由

当事業年度における個別業績予想の修正理由は以下のとおりであります。

売上高につきましては、主力製品である半導体関連製品は300mmシリコンウエハ出荷容器（FOSB）をはじめ、販売数量の減少により、前回予想を大幅に下回る見込みとなりました。これは、景気後退の影響を受け、半導体メーカー、シリコンウエハメーカーの在庫水準が悪化し、急激な在庫調整局面を迎えており、当社の販売・出荷を想定より減少させております。この環境は容易には改善せず、厳しい局面が継続すると判断に至りました。

その結果、売上高は前回予想比較におきましては、12億97百万円下回り116億円となる見込みであります。

営業利益及び経常利益につきましては、売上高の減少に伴い設備投資の縮少、経費削減の強化、人員の削減を実施し、収益向上に努力してまいりますが、売上高の減少を吸収できず、営業利益は前回予想を6億37百万円下回る25億円となる見込みであり、経常利益は前回予想を7億5百万円下回る25億円となる見込みであります。

当期純利益は、経常利益の減少に加え、還付法人税等があったこと等による税金費用の減少により、前回予想を4億2百万円下回る16億円となる見込みであります。

以 上